

Weekly Report

(2013 年 4 月第 3 週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週（4/8 － 4/12）の動き

日銀による追加金融緩和政策を好感し日経平均は続騰した。物色の矛先も金融緩和の好影響を受ける不動産や金融関連中心から、出遅れ株などにも向かい始めた。日経平均は前週末比 +5.08% の 1 万 3,485 円で一週間の取引を終えた。また、米国株は企業業績への好感から、史上最高値を更新する展開が継続している。

セクター動向は、前週比で下落したのは倉庫・運輸のみだった。上昇率トップは株式市況の好調から証券・商品となった。その他、景気の改善を予想して鉄鋼、海運、非鉄などの上昇が目立つ。スタイルインデックスでは前週に引き続き、時価総額上位の上昇が大きくなっている。

日本の国債市場では、追加緩和発表直後は一気に買いが入り、金利が低下したものの、その後は乱高下する展開となり、全ての残存期間で金利は発表前の水準を上回っている。物価の上昇が今後起こることを想定すると、金利の低下と共に、日本国債からその他の資産へと資金がシフトするのも当然だろう。実際、欧州の財政問題国の金利が低下し始めるなど、資金シフトを感じさせる動きが見られる。日本の国債市場の混乱は当面続く可能性が高い。

セクター動向(先週末比)		各種国内株式指数動向(先週末比)			
証券商品先物	21.19%	倉庫運輸	-0.91%	コア30	9.34%
電気ガス	19.23%	医薬品	2.94%	TOPIXバリュー	9.25%
保険	15.73%	陸運	3.51%	TOPIXL70	8.23%
鉄鋼	13.52%	小売業	3.65%	TOPIX	7.72%
海運	11.63%	空運	4.03%	マザーズ	6.84%
非鉄金属	11.05%	サービス業	4.17%	ミッド400	6.36%
				TOPIXグロース	6.19%
				日経平均株価	5.08%
				TOPIXスモール	3.82%
				東証2部	2.70%
				REIT指数	-2.54%

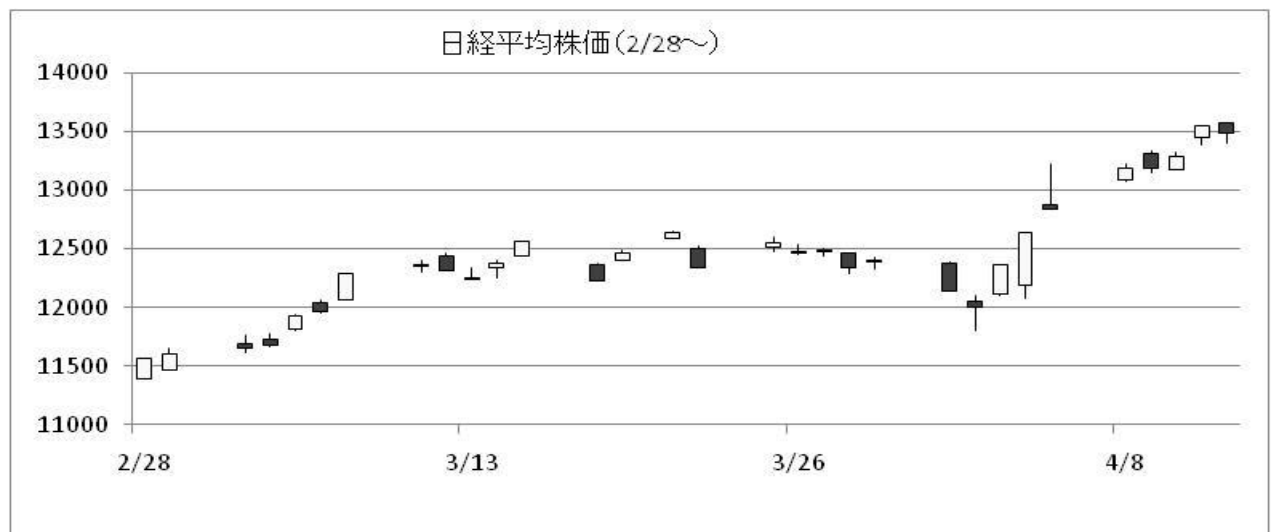
● 各国の主要経済指標

日本の経常収支（2 月・季節調整済）は－1 億円（予想－620 億・前回 3,646 億）、貿易収支（2 月）は－6,770 億円（予－6,601 億・前－14,793 億）となった。景気ウォッチャー調査（3 月）は現状判断 DI が 57.3（前 53.2）、先行き判断 DI が 57.5（前 57.7）となった。現状に関しては消費意欲に改善が見られるため上昇したが、先行きは円安などからの価格上昇に対しての不安から前月比で 5 ヶ月ぶりに低下した。銀行の貸出動向（3 月・前年比）は 1.9%（前 1.9%→1.8%）。機械受注（船舶・電力を除く民需・2 月・前月比）は 7.5%（予 6.9%・前－13.1%）と 1 月の急減から反発を見せた。

米国の卸売在庫（2 月・前月比）は－0.3%（予 0.5%・前 1.2%→0.8%）と減少気味。財政政策に関する不安などから、企業は在庫を減らしている。新規失業保険申請件数（前週分）は 34.6 万（予 36 万・前 38.5 万→38.8 万）と大幅に減少した。

中国の CPI（3 月・前年比）は 2.1%（予 2.5%・前 3.2%）と予想・前月を下回った。貿易収支（3 月）は－8.8 億ドル（予 151.5 億・前 152.5 億→152.3 億）と赤字に転落。輸出総額（3 月・前年比）は 10%（予 11.7%・前 21.8%）、輸入総額（同）は 14.1%（予 6%・前－15.2%）

となった。中国の貿易収支に関しては1，2月の輸出の大幅伸びが他国の値と比較して大きすぎるとの報道がある。輸入は伸びたが、資源やエネルギーは増加しておらず、景気の伸び悩みが感じられる。



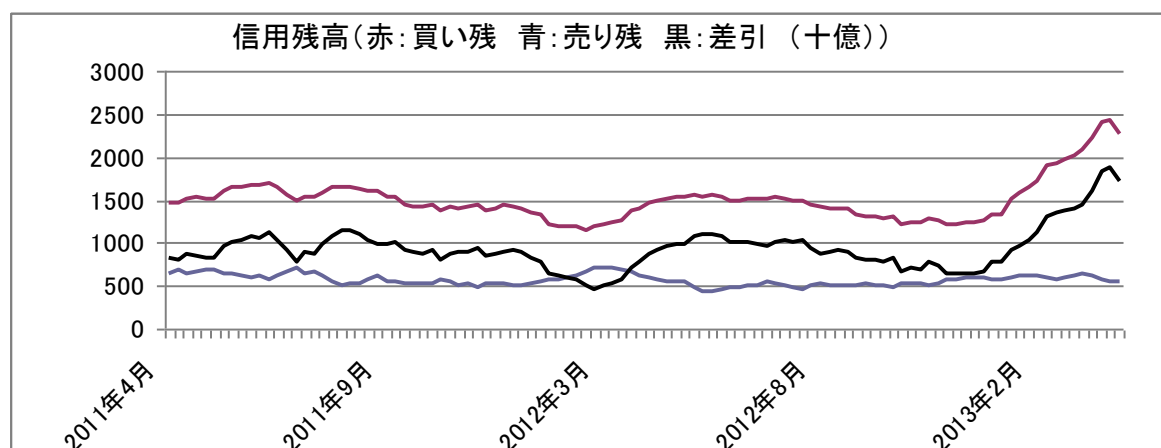
今後の注目材料

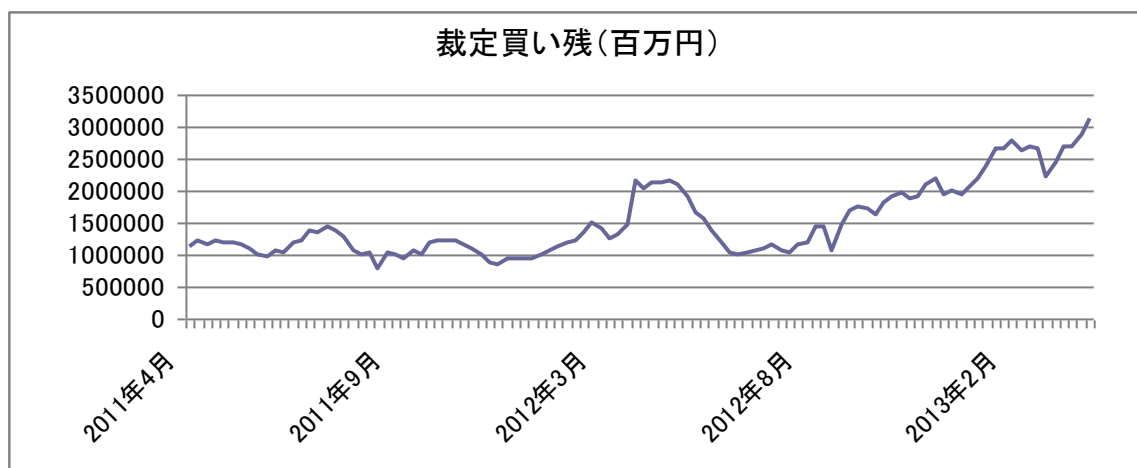
日銀の追加金融緩和策発表後、日経平均は10%以上上昇した。一気に上昇した過熱感を冷やすため、調整が必要な局面である。しかし、資金が一気に日本市場から抜ける可能性は低く、調整は株価の大きな下落ではなく、物色の循環によって行われるだろう。ここのところ出遅れている小型株などへと資金が向かうのではないかと見られる。

また、日本企業の決算発表本格化を控え、企業の業績修正が多くなることから、3Qまでの利益の進捗率の高かった企業への物色も見られるだろう。株価指数に大きな動きが出るのは大型株の決算内容を確認してからとなるだろう。

株式市場の需給動向（前週分）

投資部門別売買動向は、海外投資家の大幅な買いと個人の大幅な売りがほぼ食い合う形となった。信用買い残高は12月14日以来の減少、裁定買い残高は大幅に増加した。





	自己	委託	法人	投資信託	信託銀行	個人	海外投資家
2013/4/5	229.83	-202.14	-226.92	25.27	-162.23	-651.83	714.80
2013/3/29	65.73	-64.98	-256.09	47.02	-198.88	-75.46	272.52
2013/3/22	78.80	-88.61	-322.59	-19.95	-251.28	313.68	-91.86
2013/3/15	52.13	-38.63	-458.03	-52.83	-248.70	-30.44	457.42
2013/3/8	-299.71	301.19	-417.81	-28.53	-199.99	-278.30	1017.28
2013/3/1	12.24	-3.21	-129.90	-36.12	-61.59	-157.34	295.80
2013/2/22	63.34	-59.81	-216.46	-24.60	-172.48	-63.35	224.96

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会